

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第 1 2 報）※最終

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：2月5日 10:30～12:00（検鏡11:20～12:00）

天 候：晴れ

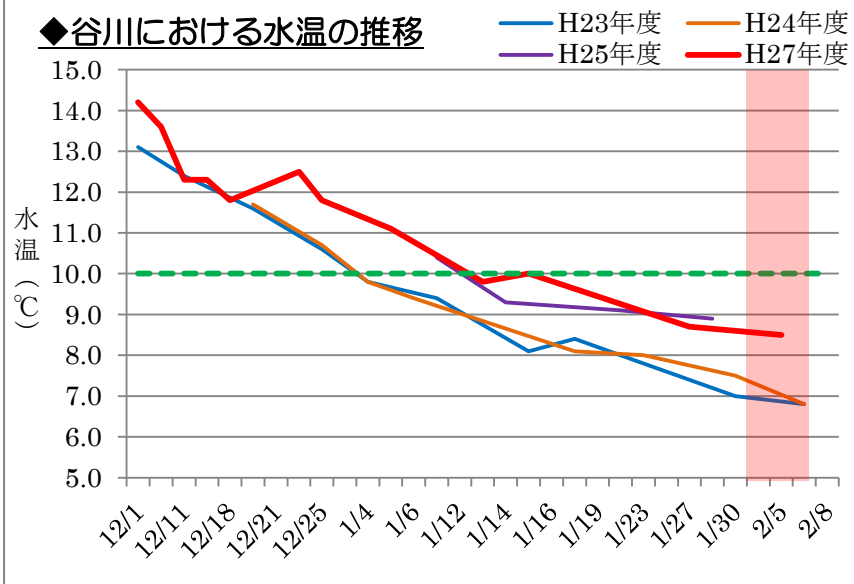
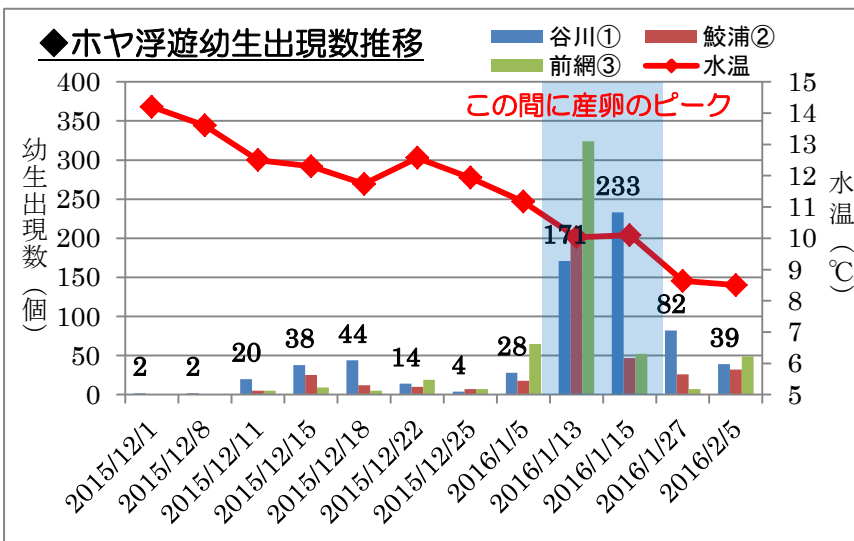
調査員：谷川支所養殖組合（伊藤敏行，阿部弘幸，渥美貴幸）

【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は8.4～8.6℃でした。
2. マボヤ幼生の出現数は、幼生・胚合わせて32～49個でした。
3. 各調査点とも、マボヤの産卵ピークは終了したと見られます。
4. 今回で幼生調査は終了です。御協力いただきました皆様、ありがとうございました。

調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	8.5	20	3	36	39	その他ホヤ幼生12
2 鮫浦	8.4	15	22	10	32	その他ホヤ幼生2
3 前網	8.6	15	29	20	49	その他ホヤ幼生5

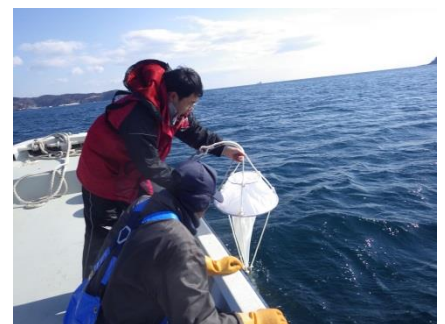
※プランクトンネットは鉛直曳き2回



① 調査風景 (サンプル採取)



② 調査風景 (サンプル採取)



③ 検鏡風景

